

## 仙台工業高校における地質調査講習に講師として参加



### 仙台工高で実践講習

#### 東北地質業協会

東北地質調査業協会（奥山清春理事長）は、仙台市内の仙台工業高校で2022年度

地質調査講習を開いた。写真。定時制課程建築土木科の1年生6人が受講し、地質の基礎からボーリングなどの実践的な技術を学んだ。

講習会は人材育成の一環で、地質調査に関する理解を深めてもらうため毎年開いている。

冒頭、同協会の橋本岳祉副理事長兼広報委員長は「地質調査業とは地球の歴史・時代が積み重なった地面の下を調べる仕事だ。ぜひ興味を持ってもらいたい」と呼び掛けた。

この後、吉田透技術委員会副委員長が地質や地盤の基礎、地震などへの対策、構造物を構築する上での地質調査の重要性などを紹介した。グラウンドで行われた実習では、ボーリングマシンによる掘削の実演をはじめ、掘削したコアの説明や現場写真撮影などを行った。

※出典：建設通信新聞（2022年8月8日付6面掲載）

※上記記事の転載は、出典を明記する前提で、新聞社から了解を頂いております。

※掲載する都合上、一部画像を編集しております。